林檎の庭

林檎の庭は春日大社本殿の広場であり、二階建ての中門（ちゅうもん）の前に位置します。最初の林檎の木は、高倉天皇(1161-1181)が春日大社の神々への贈り物として献上しました。

現在の木は1955年に春日大社へ日本の学生によって献木されたものです。毎年この木でとれる林檎は春日大社の神への供物として捧げられます。

林檎の庭では、年間を通して、舞楽や神楽が奉納されます。